

ほけんだより No.11

宇都宮市立新田小学校 保健室 R4.2.2

家の人と一緒に読みましょう

まだ寒い日は続きますが、これから春が近づいてきます。少しずつ暖かくなり春を感じる頃に、鼻がムズムズしだしたら花粉症かもしれませんが、新型コロナウイルス感染症の症状とも似ていて判断は難しいです。体調に異変を感じたら、自己判断せず早めに受診して健康を保ちましょう。



みんなで仲良くしよう

「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」 いじめはしない・負けない・許さない

「ありがとう」、「すごいね」、「大好きだよ」、「頑張ったね」など、相手の心を暖かくするような、嬉しい気持ちや幸せな気持ちにさせる言葉を「ふわふわ言葉」と言います。反対に、「バカ」、「ウザい」、「あっち行って」、「なんでできないの?」など、相手の心をちくちく刺すような、嫌な気持ちや悲しい気持ちにさせる言葉を「ちくちく言葉」と言います。



みんなで遊んでいる時に気持ちが盛り上がりすぎて、ちくちく言葉が出てしまっている人を見かけることがあります。よく考えずに言った言葉が相手を深く傷つけてしまうこともあるのです。体だけでなく、目に見えない心を傷つけることもやってはいけません。

みんなで仲良く遊んだり、学校で生活するためには、決まりやルールを守らないといけません。決まりやルールを知りたい人は法律についてわかりやすく書かれた「こども六法」が新田小の図書室にあるので読んでみてくださいね。



がっこう ほけんいいんかい し 学校保健委員会を知っていますか？

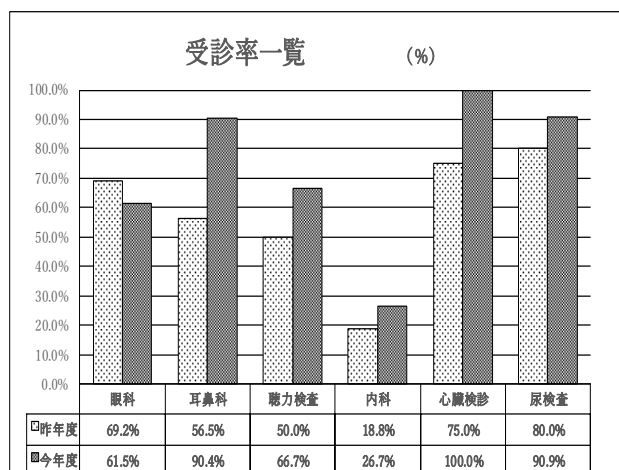
学校保健委員会とは、「児童の健康保持増進のため、学校、家庭、社会それぞれの生活の場における健康の問題について研究討議を行い、その保持増進を図る。」ことを目的に、学校の先生、PTA役員さん、学校医の先生などが集まって、みんなの健康について話し合う会です。今年も新型コロナウイルス感染症の流行により、集まらずに紙面での開催になりました。

学校保健統計などの一部結果についてお知らせします。家の人と一緒に読みながら、自分の健康状態について振り返ってみましょう。

体位（身長・体重）では、すべての学年で全国平均を下回っていました。（全国平均は令和2年度のもの）

栄養状態では男女ともに、約8～9割の児童が標準体型です。男女とも高学年から痩身傾向が出現します。男女ともに昨年度より痩身傾向は減少し、肥満傾向は増加しました。

視力検査ではA以下の児童は学校全体で25.6%います。これは県や全国と比べると少なく、視力がAの児童は多いです。CやDの割合は学年が上がるにつれて増える傾向にあります。



健康診断での有所見者率については、昨年度に比べると、心臓検診、尿検査は増加し、眼科、耳鼻科、聴力検査、内科は減少しました。

受診率については、昨年度と比べると眼科が減少しましたが、その他の項目は増加しています。今年も新型コロナウイルス感染症の流行が続いてはいますが、医療体制が整ったことや受診控えが減ったことなどで、受診率が増加しました。

学校での健康診断は学校教育法及び学校保健安全法の規定に基づいて行われています。学校で行っている検査は「スクリーニング検査」といって選別やふるい分けの検査で、所見が出て、専門

医の診察では異常なしと出る場合もありますが、有所見者が発見され、健康問題が解決されることが大切です。宇都宮市では所見がみられた場合には『こども医療費助成制度』が利用できますので、早めに受診するようお願いいたします。

歯科健診の結果、本校はむし歯の未処置者の割合は、県・全国平均よりも低く、むし歯がない者の割合も低い。処置完了者は県・全国よりも高いです。

受診率は50.0%で、昨年度の41.5%と比べて増加しました。

一度むし歯になった歯は治療した歯になっても、健康な歯には戻りません。また、乳歯だからといってむし歯を放っておくと、ほかの健康な歯やこれから生えてくる永久歯の質に関係してきます。むし歯にならないように歯みがきや食習慣に気を付け、定期的に歯科医院を受診して健康な歯を保ちましょう。

